TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★☆☆☆ みじかい　185語

# The Vain Jackdaw and his Borrowed Feathers

## みえっぱりのコクマルガラスとかりものの羽

Aesop（1919年の本）　**原文そのまま**　朗読：Lee Smalley

人の声の朗読
を聞く・Web版

**どんなおはなし？**　クジャクの羽をひろって自分にさしたコクマルガラス。クジャクのなかまに入ろうとしますが……。

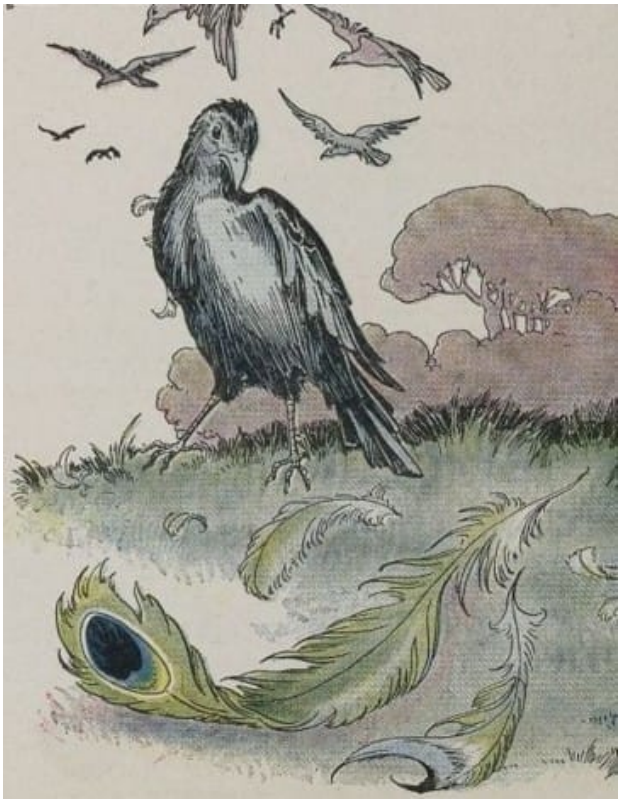


A Jackdaw chanced to fly over the garden of the King's palace. There he saw with much wonder and envy a flock of royal Peacocks in all the glory of their splendid plumage.

Now the black Jackdaw was not a very handsome bird, nor very refined in manner. Yet he imagined that all he needed to make himself fit for the society of the Peacocks was a dress like theirs. So he picked up some castoff feathers of the Peacocks and stuck them among his own black plumes.

Dressed in his borrowed finery he strutted loftily among the birds of his own kind. Then he flew down into the garden among the Peacocks. But they soon saw who

he was. Angry at the cheat, they flew at him, plucking away the borrowed feathers and also some of his own.



The poor Jackdaw returned sadly to his former companions. There another unpleasant surprise awaited him. They had not forgotten his superior airs toward them, and, to punish him, they drove him away with a rain of pecks and jeers.

> **Borrowed feathers do not make fine birds.**

## 和訳 みえっぱりのコクマルガラスとかりものの羽（The Vain Jackdaw and his Borrowed Feathers）

1わのコクマルガラスが、たまたま王さまのごてんの庭の上をとびました。そこでコクマルガラスは、王さまのクジャクたちが、すばらしい羽をかがやかせているのを見て、とてもおどろき、うらやましくなりました。

さて、黒いコクマルガラスは、あまりかっこいい鳥ではなく、ふるまいもあまり上品ではありませんでした。それなのに、クジャクのなかまに入るには、クジャクと同じ服さえあればいいと思いこみました。そこで、クジャクのおちた羽をひろって、自分の黒い羽のあいだにさしこみました。

かりもののかざりで着かざったコクマルガラスは、自分のなかまの鳥たちのあいだを、つんとすましていばって歩きました。それから、クジャクたちのいる庭へとびおりていきました。けれど、クジャクたちはすぐに、それがだれなのか見ぬきました。だまそうとしたことにおこったクジャクたちは、コクマルガラスにとびかかり、かりものの羽をむしり取り、コクマルガラスの羽までいくらかむしってしまいました。

かわいそうなコクマルガラスは、しょんぼりともとのなかまのところへ帰りました。ところが、そこでもまた、いやなことがまっていました。なかまたちは、コクマルガラスがえらそうにしていたことをわすれていなかったので、こらしめのために、つついたりからかったりして、おいはらってしまいました。

> **かりものの羽をつけても、りっぱな鳥にはなれません。**

## たんご と クイズ　みえっぱりのコクマルガラスとかりものの羽

| | | |
|---|---|---|
| **Jackdaw** コクマルガラス | **garden** 庭 | **palace** ごてん |
| **Peacocks** クジャク | **black** 黒い | **feathers** 羽 |

**Q1** コクマルガラスは、自分の羽に何をさしこんだ？

① 花　② クジャクのおちた羽　③ 木の葉

**Q2** もとのなかまがコクマルガラスをおいはらったのはどうして？

① えらそうにしていたから　② 羽が黒かったから　③ 食べものをとったから

**こたえ**

Q1　②　クジャクのなかまに入りたくて、クジャクのおちた羽をひろって、自分の黒い羽のあいだにさしこみました。

Q2　①　かりものの羽でえらそうにしていたことを、なかまたちはわすれていなかったので、おいはらったのです。

**原田英語の多読ベストジュニア**

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

**出典**　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。
挿絵：Milo Winter（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Lee Smalley（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは 3 重チェック。人の目でも順次確認しています。